
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」 第 84 号(2020. 3. 23)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 84 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、「活動はみんなで楽しく!!」をモットーに様々なイベントを実施している組織と、地域一体となった草刈りや地域内外から多くの住民が参加するイベントに取り組んでいる組織について紹介します。

事務局からは、活動組織との座談会、「広域化の手引き」について紹介します。

--- 第 84 号の目次 ---

1. 活動組織の紹介

☆ 美土里^{みど} ネットはやしなか広域協定 (石川県 白山^{はくさん}市) ☆

☆ 野上野^{のこ} 地区あけぼの会 (兵庫県 丹波^{たんば}市) ☆

2. 活動組織との座談会

☆ 栗見出在家町^{くりみでさいけちやう} 魚のゆりかご水田協議会 (滋賀県 東近江^{ひがしおうみ}市) ☆

3. 「活動組織の広域化推進の手引き」を公開しています!

(編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

～ 美土里^{みど} ネットはやしなか広域協定(石川県 白山^{はくさん}市)～ ■

～地区概要～

石川県南部に位置し、日本三名山である白山から流れる手取川下流域の平地農業地域で活動。

活動範囲は、田 239.9ha、畑 4.2ha、水路 78.7km、農道 28.3km。

～主な取組～

- ◎当地域では、県営ほ場整備事業が実施されてから 30 年以上が経過し、施設の老朽化及び維持管理が困難となっていることから、平成 26 年に 7 集落が集まって広域活動組織を立ち上げました。
- ◎地域住民による農用地周りの草刈りや女性会による花の植栽活動、農用地周辺のゴミ拾いをするクリーン作戦により、集落の景観向上に努めるとともに、田植え・稲刈り交流会やホテル観察会により、住民間の交流活性化を進めています。
- ◎また、農村文化の伝承のため、子供と大人で打ち鳴らす虫送り太鼓や、地区単位で開催する秋の文化祭に、豊年満作の守り神である「かかし」のコンクールを実施して地域おこしを行っています。このコンクールに出品された「かかし」は地域のイベント等に展示され、利活用されています。
- ◎今後も、本交付金の取組を継続し「活動はみんなで楽しく!!」をモットーに、地域住民が一体となって地域資源を保全するとともに、当地域の更なる活性化を目指していきます。



女性会による植栽活動



手植えの田植え



稲刈り交流会



かかしコンクール

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～ 野 上野 地区あけぼの会(兵庫県 丹波 市)～ ■

～地区概要～

兵庫県東部の丹波市に位置する水稻以外にも黒豆や栗などの果樹も盛んな地域を中心に活動。

活動範囲は、田 67.2ha、畑 4.3ha。対象施設は、水路 47.9km、農道 15.1km、ため池 8箇所。

～主な取組～

- ◎本組織では、様々なイベントや農業体験を通じた地域内外の住民との交流活動に力を入れて取り組んでいます。
- ◎基礎的な保全管理活動として、水路や農道、ため池の草刈りを年間 25 回実施しており、非農業者も含め述べ 750 人が参加するなど、地域一体となって活動に取り組んでいます。
- ◎また、景観形成活動として 3ha の遊休農地にレンゲの植栽を行っており、毎年 4 月に開催するレンゲ祭りでは、約 1,000 人が訪れる恒例の人気イベントとなっています。イベントでは餅つき体験も行っており、年代を問わずコミュニケーションをとることで、地域活性化に繋がっています。
- ◎さらに、平成 26 年 8 月豪雨の復興をきっかけに始まった阪神地域の大学や保育園との交流は、田植えや稲刈りなど農業体験を通じて継続しています。
- ◎今後は、これまで培ってきた繋がりを基に、更に地域の魅力を高めるとともに、都市農村交流による地域活性化に取り組んでいきます。



農道法面の草刈り



レンゲ祭り



餅つき体験



大学生田植え体験

■2. 活動組織との座談会

～ 栗見出在家町^{くりみでさいけちやう} 魚のゆりかご水田協議会(滋賀県^{ひがしあうみ} 東近江 市)～■

【座談会の目的】

地域活動への女性の積極的な参画により、現場に多様な価値観や創意工夫がもたらされ、取組の多様化や農業・農村の多面的機能の更なる発揮が期待されています。そこで、本号では、組織で活躍する女性をご紹介します。

組織の概要

栗見出在家町は東近江市の最北端に位置し、琵琶湖に面した地形を生かし、滋賀県が推進する「魚のゆりかご水田プロジェクト」事業に取り組んでいます。

活動範囲は、田 60.17ha、畑 4.19ha、水路 13km、農道 4km。

～インタビュー～

Q: 女性役員が誕生したきっかけを教えてください。

A: 地域で農地・水・環境保全向上対策に取り組む話が挙がった際に、申請書を作成できる者がいなかったことから、当時公民館に勤めていた私に声がかかりました。それをきっかけに組織の事務担当役員として活動に参加するようになりました。

Q: 組織における現在の役割を教えてください。

A: 組織の会計などの基本的な事務作業の他に、本組織におけるPR活動や現地視察の受け入れ、今年からは魚のゆりかご水田米を使用した洋菓子作りに取り組んでいます。組織のPR動画作成においては、動画の企画から撮影、編集までの全てに携わりました。また、組織が開催する生き物観察会や田植え体験などのイベントの際には、段取りを始め、非農家を含めた地域の女性参加者の取りまとめを行っています。

Q: 組織の活動当初における女性参加で苦労した点を教えてください。

A: 昔から地域の会議等においては、一家の代表である男性が参加していたので、そのような場所で女性が発言する機会がなく、活動当初は、女性の意見を採り入れてもらうのが難しい状況でした。しかし、これからは組織の活性化のために女性参画が重要であると考え、女性参加につい



事務局 小林氏



米粉を使った洋菓子
(6次化商品)

て各家庭にお願いしたところ、多くの女性が活動に参加するようになりました。今では3名の女性が役員となっており、企画立案においても女性の視点が加わり活動に活気が生まれています。会議等においても女性からの柔軟なアイデアや新たな発想で前向きな意見交換ができるようになり、女性参加を契機に集落は大きく変わりつつあることを実感しています。

Q: 女性の活動参加を促すために工夫されていることはありますか。

A: 地域の子供会には、必ずお母さん方が一緒に参加されますので、子供会と協議会が連携することで、集落の皆さんが気軽に参加し、魚のゆりかご水田の取組に対する理解も深まり、みんなで地域を盛り上げようという機運が醸成されています。また、地域のおばあちゃんにも行事に参加してもらうように声掛けを行っています。昔から地域行事への参加には積極的な地域があるのでこれからも声かけを通して集落の絆を守っていければと思います。

Q: 組織において女性が中心となった取組はありますか。

A: 組織の6次化商品として、「魚のゆりかご水田米」の米粉を使用した洋菓子作りは、女性が中心となっており、週に一度地域の直売所や滋賀県立大学の生協で販売しています。このように、私は組織の役員として参加した時から理想としていた女性が活躍する場所がどんどん広がっていることを、大変うれしく思います。また、洋菓子を食べた学生から「おいしい。栗見出在家産の魚のゆりかご水田米の米粉でできていることを知り、食べて応援したい。」といった声を聞き、これからも皆が喜んでくれる取組みになるよう頑張りたいです。

Q: 組織の活動に関わってよかったと思われることはありますか。

A: 大学での私の専門が教育学だったこともあり、農業農村を体験するのは初めてでした。魚道の設置や遡上の動画撮影、イベントの企画などに中心的に関わるようになり、初めてのことはばかりで苦労も経験しましたが、農業生産だけでなく生きものを育てる場所として農業農村の果たしている様々な役割を知ることができました。何よりも、取組を通して地域の皆さんの笑顔に出会えるのがうれしいです。



- ・代表 村林氏（右から2人目）
- ・事務局 小林氏（左から2人目）
- ・東近江農業農村振興事務所
田中氏（右から1人目）
- ・東近江市農村整備課
上田氏（左から1人目）

■3.「活動組織の広域化推進の手引き」を公開しています！■

現在、本交付金の HP にて、「広域化の手引き」を公開しています。

広域活動組織とは、複数の集落や活動組織等の合意により設立され、広域エリアで地域資源の保全管理等を行う組織です。活動組織の広域化は、共同活動を実施しようとしても、なかなか人が集まらない組織や、組織のリーダーや役員のなり手がいない組織、事務作業を負担に感じている組織に向けた解決策の1つとなります。

今回 HP に公開している手引きには、活動組織を広域化するにあたってのメリットやデメリット、広域活動組織設立までの流れ、参考となる事例等がまとめられていますので、ぜひご活用ください。

▽多面的機能支払交付金 HP▽

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■編集後記■

別れと出会いの季節となりました。私事ではございますが、4月より異動となり、今は引っ越し準備を行っています。この1年間を振り返ると、やりがいを感じたこと、悔しかったことなどが走馬燈のように頭を巡ります。数年後、お世話になった方々にまたお会いする際には、少しでも成長した姿を見せられるよう、新しい土地でも頑張りたいと思います。

また、本号を持ちまして担当交代となります。ご愛読いただいた皆様、また作成にご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。1年間ありがとうございました。なお、次号の配信日は、4月13日（月）を予定しています。今後とも「農村ふるさと保全通信」をよろしくお願い申し上げます。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→



◇令和元年度多面的機能支払交付金のあらし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇
ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。
どんどんご活用ください！！



高めよう 地域協働の力!

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇
メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、新谷）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
